平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場会社名　株式会社 ジェイテック　　上場取引所　大
コード番号　2479　URL　http://www.j-tec-cor.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）藤本 幸之助
問合せ先責任者（役職名）執行役員財務本部長　（氏名）茂木 和彦　TEL 03-5205-3642
四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,038	16.7	△1	—	9	—	12	—
23年3月期第2四半期	889	△14.9	△83	—	△25	—	△28	—

（注）包括利益　24年3月期第2四半期　13百万円　（—%）　23年3月期第2四半期　△21百万円　（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	298.53	—
23年3月期第2四半期	△712.29	—

（注）当社は平成23年4月1日をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。なお、平成23年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	758	427	56.3	10,232.29
23年3月期	738	415	56.3	9,960.60

（参考）自己資本　24年3月期第2四半期　427百万円　23年3月期　415百万円

（注）当社は平成23年4月1日をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。なお、平成23年3月期の1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
24年3月期	—	0.00			
24年3月期（予想）			—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

当社は平成23年4月1日をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割をしております。なお、平成24年3月期（予想）の期末配当額は、当該株式分割の影響を勘案すれば平成23年3月期の期末配当額と同水準となります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,163	14.4	32	—	47	55.2	43	20.3	1,030.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	41,748 株	23年3月期	41,748 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	14 株	23年3月期	14 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	41,734 株	23年3月期2Q	40,292 株

（注）当社は平成23年4月1日をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割をしております。なお、前連結会計年度末及び前年同四半期に係る株式数の算定については当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により、これらの予想数値と異なる場合があり得ることをご承知おき願います。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成23年4月1日をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年３月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とその後の福島第一原子力発電所事故により、企業活動に重大な影響を受けたものの、その後のサプライチェーンの早期復旧により、生産活動は回復傾向で推移しました。しかしながら、電力供給の制約、欧州の債務危機など海外経済の下振れ懸念、円高等の問題もあり先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループでは主力事業である技術職知財リース事業においては、中期経営計画の達成に向けて、経営課題である人材の確保と育成のために、積極的に採用活動を行うとともに、社内研修の他OJTおよび社外サービスを活用するなど教育体制を強化し、顧客のニーズにあった高いスキルをもつテクノロジストの確保と育成を行ってまいりました。

サプライチェーンの復旧による生産活動の回復や復興需要などにより、当社グループの主要取引先である大手製造業では自動車関連企業を中心に技術開発・製品設計が活発になっており、高いスキルをもつ技術者に対する需要が高いことから、当社グループではこれらの企業に対して積極的な営業展開を行った結果、受注が好調に推移し、第２四半期連結累計期間におけるテクノロジストの稼働率は概ね90%を越える高水準で推移いたしました。

しかしながら、円高の長期化や海外経済の下振れ懸念など国内経済の先行きに不安定要素があることから、販売管理費については引続き抑制に努めてまいりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高1,038百万円（前年同期比16.7％増）、営業損失１百万円（前年同期は83百万円の営業損失）、経常利益９百万円（前年同期は25百万円の経常損失）、四半期純利益12百万円（前年同期は28百万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

①技術職知財リース事業

産業用機器関連、精密機器関連等の顧客企業からの取引が前年同期比増加した結果、技術職知財リース事業の売上高は1,025百万円（前年同期比15.7％増）、セグメント利益は133百万円（前年同期比230.5％増）となりました。

②一般派遣及びエンジニア派遣事業

子会社の株式会社ジオトレーディングの業績が堅調に推移したことにより、売上高は12百万円（前年同期比233.0％増）、セグメント利益は２百万円（前年同期比160.5％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産総額は758百万円となり、前連結会計年度末より19百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債総額は330百万円となり、前連結会計年度末より７百万円増加いたしました。これは主に未払費用の増加によるものであります。また純資産は427百万円となり、前連結会計年度末より11百万円の増加となりました。

なお、自己資本比率は56.3％となり前連結会計年度末の56.3％を維持することとなりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加（前年同期は93百万円の増加）し、366百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は30百万円となりました。これは主に法人税等の支払額４百万円による資金の減少があったものの、賞与引当金の増加７百万円、売上債権の減少６百万円、税金等調整前四半期純利益６百万円、未払費用の増加６百万円、未払金の増加５百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は３百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出0.9百万円等による資金の減少があったものの、投資有価証券の売却による収入４百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は16百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による減少13百万円、配当金の支払額２百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、主力事業である技術職知財リース事業において、国内経済の先行きが不透明なことから、主要取引先の製造業全体の取り巻く環境が依然として厳しく業界動向を推測しづらいこともあり、当初予想通りとしております。

以上により、平成24年３月期の連結業績予想につきましては、平成23年５月９日公表の予想通り売上高2,163百万円、営業利益32百万円、経常利益47百万円、当期純利益43百万円としております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。この適用により、第１四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して１株当たり四半期純損失及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第２四半期連結累計期間の１株当たり四半期純損失及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

１株当たり四半期純損失金額　1,424円57銭

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	348,375	366,306
売掛金	252,328	245,690
繰延税金資産	10,236	18,922
その他	30,149	31,418
貸倒引当金	△155	△151
流動資産合計	640,934	662,186
固定資産		
有形固定資産	6,907	10,285
無形固定資産	6,676	5,467
投資その他の資産		
敷金及び保証金	66,009	65,906
その他	18,413	14,162
投資その他の資産合計	84,423	80,068
固定資産合計	98,007	95,822
資産合計	738,941	758,008
負債の部		
流動負債		
短期借入金	83,336	70,002
未払費用	22,275	28,466
未払法人税等	6,192	4,881
賞与引当金	71,952	79,012
その他	65,432	70,469
流動負債合計	249,188	252,832
固定負債		
退職給付引当金	73,978	74,976
その他	78	3,165
固定負債合計	74,056	78,141
負債合計	323,245	330,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,357	255,357
資本剰余金	254,755	252,668
利益剰余金	△93,872	△81,413
自己株式	△659	△659
株主資本合計	415,580	425,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	1,081
その他の包括利益累計額合計	114	1,081
純資産合計	415,695	427,034
負債純資産合計	738,941	758,008

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	889,553	1,038,040
売上原価	686,389	753,393
売上総利益	203,163	284,647
販売費及び一般管理費	287,157	285,731
営業損失（△）	△83,993	△1,083
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	182	61
助成金収入	58,271	10,909
その他	932	656
営業外収益合計	59,390	11,630
営業外費用		
支払利息	821	1,022
株式交付費	450	450
その他	1	－
営業外費用合計	1,273	1,472
経常利益又は経常損失（△）	△25,876	9,074
特別利益		
投資有価証券売却益	68	－
その他	1	－
特別利益合計	69	－
特別損失		
投資有価証券評価損	330	13
投資有価証券売却損	－	1,362
特別退職金	－	1,200
特別損失合計	330	2,576
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△26,137	6,498
法人税、住民税及び事業税	2,562	2,725
法人税等調整額	－	△8,686
法人税等合計	2,562	△5,960
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△28,700	12,459
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△28,700	12,459

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△28,700	12,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△311	966
為替換算調整勘定	7,132	－
その他の包括利益合計	6,820	966
四半期包括利益	△21,879	13,425
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,879	13,425
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△26,137	6,498
減価償却費	1,856	2,169
投資有価証券評価損	330	13
受取利息及び受取配当金	△186	△65
支払利息	821	1,022
投資有価証券売却損益（△は益）	△68	1,362
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,643	7,059
株式交付費	450	450
売上債権の増減額（△は増加）	△2,761	6,638
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,954	998
未払金の増減額（△は減少）	△6,857	5,839
未払費用の増減額（△は減少）	1,825	6,191
未収消費税等の増減額（△は増加）	31,536	－
未払消費税等の増減額（△は減少）	12,679	△1,387
預り金の増減額（△は減少）	△2,413	△21
その他	4,596	△1,167
小計	23,272	35,602
利息及び配当金の受取額	186	65
利息の支払額	△861	△981
法人税等の支払額	△4,531	△4,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,065	30,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△130	△988
投資有価証券の売却による収入	164	4,502
子会社の清算による収入	666	－
敷金及び保証金の差入による支出	△302	△146
敷金及び保証金の回収による収入	982	250
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,381	3,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	24,664	△13,334
株式の発行による収入	49,381	－
配当金の支払額	△1	△2,033
リース債務の返済による支出	－	△272
その他	－	△450
財務活動によるキャッシュ・フロー	74,043	△16,089
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	93,490	17,931
現金及び現金同等物の期首残高	147,104	348,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	240,595	366,306

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
【セグメント情報】
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）１
	技術職知財リース事業	一般派遣及びエンジニア派遣事業	計		
売上高					
（１）外部顧客への売上高	885,655	3,898	889,553	－	889,553
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	885,655	3,898	889,553	－	889,553
セグメント利益又は損失（△）	40,265	962	41,227	△125,220	△83,993

（注）１　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
２　調整額（125,220千円）の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）１
	技術職知財リース事業	一般派遣及びエンジニア派遣事業	計		
売上高					
（１）外部顧客への売上高	1,025,057	12,983	1,038,040	－	1,038,040
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,025,057	12,983	1,038,040	－	1,038,040
セグメント利益又は損失（△）	133,063	2,506	135,569	△136,653	△1,083

（注）１　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
２　調整額（136,653千円）の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。